

薬物乱用防止教室を振り返る

…加藤先生のレポート

人は本物に触れたときに心が揺さぶられるものだ。10/13(金)7時間目、本校1学年生徒全員を対象に薬物乱用防止教室が行われた。講師は長原和宣さん。20代後半で薬物乱用者になり、逮捕される。今現在、過去陥った闇に戻らないために、ポジティブ100%で一所懸命仕事をして、充実した毎日を送り配送会社の経営者として19年目を迎えている。



薬物体験の実際、抜け出す苦しみ、薬物中毒者の中で断ち切れる人は1割であること、現在の夢そして人として大切な在り方について熱く伝えてくれた。

「嫌いなことを減らして好きなことを増やしていく」「感じのいい人にな리なさい」長原さんのことばが心に残っている。

生徒の感想文を紹介する。

生徒感想文

A組 Tくん

今回のお話を聞いて、薬物に対する危険意識がさらに高まったと思います。小・中学校でも薬物に関するお話はたくさん聞いてきましたが、実際に使用したことのある人のお話を聞いたのは初めてだったので非常に説得力のあるお話で良い機会だったと思います。薬物の他にもありがたいお話も聞けて人間として一つ成長できたと思います。

B組 Hさん

今回、長原さんのお話を聞いて深く心に刺さる言葉がたくさんありました。薬物というものは本当に身近に潜む危険なもので1回き

りという甘い考えは通用しないということを改めて学ぶことができました。長原さんの強く私たちに言ってくれた言葉は、本当に今までにない失敗をした後悔、だからこそ伝えられる素晴らしい言葉だと思いました。

C組 Nくん

実際に薬物をやっていた人の話は初めてで、とてもリアルで正直少し怖かった。興味とかでたった一回でも薬物をやったら絶対に元に戻れないということがとても伝わってきた。そして表に出ないところでも恐ろしいことがたくさんあるが、世の中に都合の良いものはないので、誘惑とかに負けないで絶対に薬物をやらないようにしたい。

D組 Wくん

実際に薬物をしたことがある人に来ていただいて薬物の怖さが改めてよく分かった。特に感情のコントロールができなくなるエピソードを聞いてとても怖くなった。また気持ちの持ち方の話などもとても参考になった。これからは自分の将来や夢をたくさん考えて生きていけるようにしていきたいです。また誘惑にも絶対負けないようにします。

E組 Tさん

私はこのお話を聞くまで覚醒剤といったような物とは縁がないだろうと思っていましたがそれは実際に覚醒剤乱用者も思っていたことだと知り急に近くに感じた気がしました。そして覚醒剤を使用すると自分だけではなくて家族の人にも迷惑がかかってしまうし、中毒になって辞められなくてとても辛い物だということも知ることができました。今回のような実際に使用していた人からお話を聞くことはできないことなので本当に貴重な経験になりました。

F組 Tさん

今までも薬物については学習してきましたが、実際の体験談を聞くことで薬の恐ろしさ以外にも人生について考えることができました。助かる方法は死ぬか捕まるかという言葉から薬物中毒の怖さを感じました。どんな状況でも自分をしっかり持ち笑顔でいることが必要と思いました。絶対一度では終わらない薬の力。長原さんに会えて良かったです。

マドレーヌ

…家庭科調理実習始まる

本格的な調理実習に先駆けて、調理室や班行動に慣れる目的で洋菓子を作成しているそうです。メッセージに「感想を…」と書いてあるので通信に掲載しました。

舌も心もほのかに甘くなりました。



今後の予定

- 10/25（水）⑦生徒集会
科目選択予備調査票提出締切
- 10/28（土）進研総合模試
- 11/6（月）⑦1学年英語スピーチコンテスト
- 11/28（火）～12/1（金）後期中間考査
保護者懇談会
(クラスにより日程は異なります)

10/28（土）進研総合模試

当日の欠席連絡は 0134-21-6608

8:25 登校・受験カード記入

8:40～ 国語（80分）

10:15～ 数学（100分）

昼休み

12:40～14:00 英語（80分）